

グリーンリカバリーに異論含め関心

炭素の価格付けにも賛否両論

中環審・産構審 第1回合同会議で早くも確執

環境省が経済産業省・国土交通省と連携して設置した「グリーンリカバリー推進委員会」の第1回合同会議（中環審・産構審）が9月8日、東京で開かれた。この会議で、炭素の価格付け（カーボンプライシング）に関する議論が、早くも両審会の間で確執を生じていることが明らかになった。

中環審（中央環境審議会）は、環境省が中心となり、産構審（産業構造審議会）は、経済産業省が中心となり、それぞれが所管する分野から専門家を集めて設置された。両審会が連携して、グリーンリカバリー（環境回復）の推進を図ることが目的である。

会議では、まず環境省の報告書が読み上げられた。報告書には、カーボンプライシングの導入による温室効果ガスの削減効果や、産業界への影響などが詳しく説明されている。しかし、産構審からは、炭素の価格付けが中小企業や製造業に与える負担が大きいと指摘された。また、価格の決定方法や、所得補償の仕組みについても議論が交わされた。

産構審の委員からは、「炭素の価格付けは、産業界にとって大きな負担となる」という意見が相次いだ。また、「価格の決定は、政府が一方的に行うのではなく、産業界と連携して行う必要がある」とも指摘された。一方、環境省からは、「カーボンプライシングは、気候変動対策の重要な手段であり、導入は避けられない」という立場が示された。

会議は、両審会の間で意見の相違が生じたまま終了した。今後の議論が、両審会の間でどのように進められるのか、注目が集まっている。

減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク

将来世代などの視点からも議論 環境放射能除染学会 研究発表会で初会合

環境放射能除染学会の第1回研究発表会が9月8日、東京で開かれた。この会合では、除染作業の進捗状況や、将来世代への影響などについて議論が行われた。

学会の会長を務めるのは、環境省の元副大臣である。会合には、関係機関の代表者や、専門家らが参加した。発表では、除染作業の現状や、課題などが報告された。また、将来世代への影響や、復興のあり方についても議論が行われた。

会長は、「除染作業は、一刻も早く完了させる必要がある」と述べた。また、「将来世代への影響を最小限に抑えるためには、科学的なアプローチが必要である」とも述べた。参加者からは、「除染作業の進捗が遅い」という指摘も出された。また、「復興のあり方についても、地域住民の意見を尊重する必要がある」とも指摘された。

この会合は、学会の活動の第一歩となる。今後の活動についても、関係機関と連携して進められることが期待されている。

埼玉県産業振興公社 地中熱利用システム開発へ

埼玉県産業振興公社が、地中熱利用システムの開発に取り組んでいる。このシステムは、地中の熱を効率的に利用し、エネルギーコストを削減する効果が期待されている。

公社は、地中熱利用システムの開発を通じて、持続可能な社会の実現を目指すとしている。また、地中熱利用システムの普及を促進するため、関係機関と連携して取り組んでいる。


地中熱利用システムは、地中の熱を効率的に利用し、エネルギーコストを削減する効果が期待されている。また、環境にも優しいシステムであるため、注目が集まっている。

秋田港など4港湾を初指定 国交省、洋上風力発電基地に

国土交通省が、秋田港など4港湾を初指定し、洋上風力発電基地の建設を進める方針を示している。この指定は、洋上風力発電の普及を促進するための重要なステップと見られている。

国土交通省は、洋上風力発電基地の建設を通じて、再生可能エネルギーの供給能力を向上させることを目指している。また、地域の活性化や雇用の創出にも貢献するとしている。

NEWS + 製品・技術紹介 ウイルス感染対策




5秒で検温が可能 「AIサーマルカメラ」

企業において感染防止対策が不十分な状態は、「企業への信頼感の低下、対外イメージの低下」が感染発生による事業運営の停止とさまざまなリスクが考えられ、従業員の健康管理・来訪者の入館管理等の感染防止対策が求められている。

AIサーマルカメラは建物の入り口ゲート手前などに設置し、顔認識で見分けると同時にサーモグラフィで体温を測定して、体温があらかじめ設定した一定以上の温度だった場合にアラートを出す。拡張性として、豊富なインターフェースおよびシステム連携機能により、セキュリティゲート、POSシステム、EC決済システム、出退勤システムなどに使用することが可能。

お問い合わせ：三友エンテック 03-5439-5696



細菌・ウイルスによる空気感染を防止する UVC殺菌灯「B-ZONE」

高出力UV-C（短波長紫外線）は浮遊する菌・カビ・ウイルスの遺伝子を破壊する効果が顕著に認められている。B-ZONE（ビーゾーン）はアメリカで開発された特許出願済み高出力のUV-Cランプを使った装置なので効果も大きい。紫外線を直接照射しないよう筒形のカバーがけられ、片側からファンで室内の空気を取り入れ、反対側から排出する構造となっている。電圧は100V消費電力92W、7.6分と軽く持ち運び、天井や壁に取り付けられる。使用できる環境も0～65℃、湿度85%以下（非結露）までと広く、空調機内の設置もできるような設計がされている。


●100台限定特別価格：29万8,000円（消費税、配送料別）
●お問い合わせ：プライムスター 03-6869-6606



大空間換気用、安全配慮の移動可能送風機 GYMファン GQ-90D

GYMファンは、無塵症対策に加え、ウイルス感染防止で風通しを良くしなければならぬ大規模空間や災害時避難所の換気に利用できるキャスター付の強力送風機で、GQ-90シリーズは安全配慮のガードネット付き。GQ-90Dは従来のモデルGQ-90B2に比べ重量は16%軽減化して62kg。現場環境に合わせ、細かな風量調整が可能な専用タイプで、DCモーター採用により消費電力は20～30%低減した。モーター直結羽根のため、ベルトや減速機構がなく、よりシンプルな構造を実現した。風量は毎分990立方メートル、毎秒1立方メートルの風が25%の距離まで届く。総質量65kgタイプ。

●価格 28万6,000円（消費税、配送料別）
●お問い合わせ：鎌倉製作所 03-3403-4353



「ウイルス・コントロール・プログラム（VCP）」を開始 新型コロナウイルス対PCR検査他

独自のウイルス対策や測定技術を用いて、空間内（建物内・室内・生活エリア内・事業活動エリア内）をウイルスなどの病原体から守るため、継続的に管理・コントロールしていく防疫総合サービス。

①対物PCR検査および検査証明書の発行
清掃後や消毒作業後に残存するウイルスの確認に、物を対象としたPCR検査の実施と検査証明書の発行。

②新型コロナウイルス感染者がいた場合の消毒作業を請け負い、作業証明書を発行。

③オゾン殺菌機、次亜塩素酸水などの除菌、ウイルスへの有効性が確認されている製品、アルコール入り消臭剤等の販売。

●問い合わせ：カモフラ 03-5540-5851